

本事業の成果とまとめ①

・アセスメント業務について



訪問時に「聞き漏れ」や「視点不足」を感じる方が多い中、AIの活用により約半数が改善を実感した。AIシステムによって、これまで気づけなかった視点を得ることができ、アセスメントの精度向上につながった。また、訪問前の事前準備がスムーズになり、必要な情報を整理した上で対応できるようになった。実際に、これまで2時間以上かかっていたアセスメント業務が1時間未満や30分未満に短縮されたケースも多く、業務効率化に貢献している。さらに、AIの活用によりニーズ把握の精度が向上し、リスク想定や課題の見落とし・抜け漏れの防止にもつながっている。アセスメント業務の質を高める手段として、AIシステムが有効に機能していることがうかがえる。

・ケアプラン作成業務について



約6割のケアマネジャーは利用者の1年後の状態変化を予測しながらプランを作成しており、AIシステムの「1年後の状態予測機能」に対して、62%が「役に立った」「少し役に立った」と回答。具体的な効果としては、「利用者・家族への根拠説明ができた(2名)」、「利用者の状態像の再認識ができた(6名)」、「サービス提案の客観的評価が行えた(7名)」、「自身のプランとの方向性確認ができた(5名)」などが挙げられた。

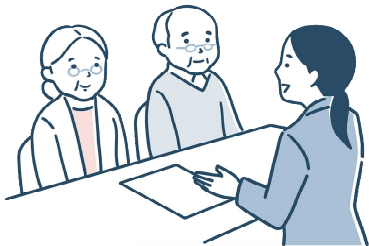
また、約4割のケアマネジャーが利用者の要介護度を予測しながらケアプランを作成しており、AIシステムの「1年後の要介護度予測」についても、66%が「役に立った」と回答。

効果として、根拠説明(4名)、状態像の再認識(4名)、提案評価(3名)、方向性確認(3名)が実感された。

さらに、AIシステム利用前に約8割のケアマネジャーが短期・長期目標の設定に難しさを感じていた。一方、利用後には62%がAIの分析が目標作成に「役に立った」「少し役に立った」と感じたという回答があった。

本事業の成果とまとめ②

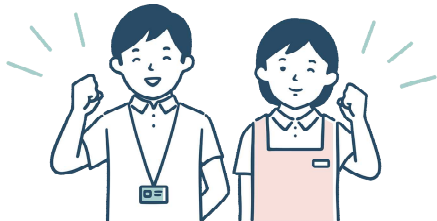
・サービス担当者会議等調整業務について



ケアプランの方針や目標、根拠の説明に苦労しているケアマネジャーは71%にのぼり、利用者や家族への分かりやすい説明が大きな課題となっている。AIシステムの活用により、「将来予測」や「SOIN AI Chatの回答を参考にした」といった点が評価され、専門的な根拠を補完しながら、より納得感のある説明が可能になったことがうかがえる。

また、「視覚的なグラフ」や「サービスプランの比較」が役立ったという声も多く、データを活用した説明の有効性が示されている。一方で、サービス担当者会議では対人対応の要素が強く、ケアマネジャーのコミュニケーション能力が不可欠となる。AIシステムによる業務効率化で創出された時間を、利用者との対話や関係構築に充てるなどの工夫が求められる。

・新人教育・自己学習について



新人・若手ケアマネジャーの育成業務に課題を感じている人が多く、事前調査で86%が「効果的に教育できていない」と回答していた。しかし、AIシステム導入後にはケアマネジャーの67%が育成業務に「有効である」と評価し、一定の改善が見られた。AIシステム活用により、「将来予測」や「SOIN AI Chatの回答」「悪化防止のアドバイス」などが効果的とされ、AIシステムの客観的な情報が教育の質向上に寄与していることが分かる。また、AIシステムの機能を活用した指導や自己学習の促進が、新人育成の負担軽減に繋がっている。

さらに、AIシステムは日常業務の知識補完にも有効で、特に「課題分析」や「アセスメント」「ケアプラン作成」において高評価を得ている。「モニタリング」や「インテーク」でも活用され、継続的な支援や初期対応にも役立っていることがわかる。

本事業の成果とまとめ③

・ケアマネジメント業務全般について

AIシステムは、ケアマネジャーの専門性を多方面から支援し、質の高いケアプラン作成と業務効率化に一定の効果が確認された。

具体的には、「アセスメント」では、AIシステムがケアマネジャーの見落とししやすい視点を補うことで、情報収集の精度向上やアセスメント能力の向上がうかがえた。「ケアプラン作成」では、AIシステムの予測機能が根拠に基づく計画立案を支援し、利用者や家族への説明の質が高まったとの声が多かった。

また、「サービス担当者会議」では、AIシステムが提供する客観的なデータがケアマネジャーの説明を補強し、信頼性の向上に役立ったとする意見が寄せられている。「新人教育・自己学習」の場面では、AIシステムの活用が教育の質向上や自己学習の促進につながり、人材育成の効率化が期待できるとの声もあった。

AIシステムは、「適切なケアマネジメント手法」の理解促進にも貢献することが確認できた。AIシステムの活用を通じて、ケアマネジャーは「適切なケアマネジメント手法」に関する理解を深め、ケアプラン作成やアセスメントの精度向上に繋げることが期待できる。

本事業において、AIシステムの導入・活用は、介護現場における重要な課題である、ケアマネジャーの質の向上と業務効率化の解決につながる可能性が確認できた。

